

令和7年度 学校教育目標とその具体化構想

学校教育目標 いつまでも続く未来を創るために、自ら考動する子どもの育成
--

◇法令及び小学校学習指導要領 ◇熊本市教育振興基本計画 ◇熊本市教育方針、教育目標

◇児童・地域の実態 ◇保護者・地域の願い ◇学校の伝統

校訓 かしこく 強く 美しく

学校経営方針
1 居心地のよい、居場所のある学級 2 「教える」から「学びとる」授業 3 仲間を大切にする、子どもが主体となる活動 4 命を大切にする心の教育 5 ESD教育の推進（基礎・基本の定着、学力向上）

めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
1 思いやりにあふれる学校（礼）	1 礼儀正しく、思いやりのある子（礼）	1 仕事に誇りをもち、教育への夢を語る教師（礼）
2 学ぶ意欲のみなぎる学校（学）	2 自ら考え、判断し行動する子（学）	2 使命感に燃え、指導力向上に努める教師（学）
3 明るい活気に満ちる学校（体）	3 心身ともに強く、粘り強くがんばる子（体）	3 心身ともに健康で、澁刺とした教師（体）

努力目標と努力点			
豊かな心（礼）	確かな学力（学）	たくましい体（体）	充実した環境
①道徳科の趣旨に沿った授業づくり ②体験を通じた心の教育の推進 ③不登校児童への早期対応と望ましい集団づくりの推進 ④ESD教育の推進	①主体的・対話的で深い学びのある授業の実践 ②基礎基本の習得 ③個に応じた指導の推進 ④自ら学ぶ態度の育成	①健康的な生活習慣の定着 ②生涯体育の基礎づくりの推進 ③生きる力を培う食育の推進 ④危機管理意識の醸成	①地域に開かれた学校の促進 ②学びに潤いを与える環境の推進 ③情報教育の推進 ④世界に目を向ける環境の推進

具体的実践事項			
◎「考え、議論する道徳」の授業づくりの追究 ○「あそび運動」の積極的な展開と強化 ○基本的な生活習慣の指導と徹底 ○不登校解消のための諸機関や家庭と連携した取り組み ○児童会活動の活発化 ◎児童理解と情報の共有 ◎コミュニケーション活動（つながりタイム）による豊かな人間性の育成	◎授業づくり3つの視点に立った授業改善の推進 ◎ICTを効果的に活用した授業の工夫 ○学力調査を位置付けたPDCAサイクルによる学力向上対策 ○家庭学習の習慣化 ○全教科等における言語活動の重視 ○タブレットを活用した授業の効果的な取組 ◎言語活動のある授業を通してコミュニケーション能力と表現力、情報活用能力の向上	◎生活習慣の改善、遅刻解消の取組の強化（不登校対策との連動） ○個に応じた保健指導の充実 ○体力向上を目指した体育活動の充実 ○家庭と連携した食育の推進 ○望ましい人間関係を築く給食指導の場の設定 ◎命の大切さを学ぶ防災・防犯訓練の工夫	○地域諸団体との連携 ○家庭・地域への情報発信 ○美しく整った環境（緑化・美化）の創造 ○学習とのつながりを意識した掲示の推進 ◎情報モラル教育の推進 ○情報化社会を正しく生き抜く情報活用能力の育成 ◎英語を学ぶ環境と学校図書館の整備及び授業等での活用

人権教育の視点に立った教育活動の推進